

研究協力のお願

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

コロナ禍前後のスーパー救急病棟入院患者の患者像、患者背景の比較
1. 研究の対象および研究対象期間 2014年1月1日から2021年12月31日に昭和大学横浜市北部病院 精神科救急病棟(西2階病棟)に入院した患者さん
2. 研究目的・方法 本研究の目的は、精神科救急病棟における入院患者の背景や病棟の運用において、COVID-19感染拡大(コロナ禍)の前後における入院患者の属性や入院治療に関連するデータを比較することで、パンデミックが精神科救急医療にどのような影響を及ぼすかを検証することです。診療録の情報をもとにデータベースを作成し、これをコロナ以前(2014年1月1日から2019年12月31日) コロナ以後(2020年1月1日から2021年12月31日)の2群に分け、統計学的に比較検討を行います。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで。
4. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢、性別、生活状況、罹病期間、入院回数、診断名、精神保健福祉法における入院形態、行動制限の有無、行動制限の種類、入院期間、転帰について情報を収集します。
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院 氏名 山田 浩樹

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 氏名：山田 浩樹

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号： 045-949-7000（内線 7566）